

2022年5月30日

# 創智国際学院 2021年度自己点検・評価報告書

創智国際学院

校長 平山裕康

[評価基準] 5：達成している 4：ほぼ達成している 3：どちらともいえない 2：取り組みを検討中 1：改善が必要

1. 教育の理念・目標等	評価
1 学校の理念・目標や育成する人材像は明確に定められているか	5 /5
2 学校の理念・目標や育成する人材像は社会のニーズに合致しているか	5 /5
3 学校の理念・目標は全教職員に周知されているか	5 /5
4 学校の理念・目標に基づく教育が行われているか	5 /5

## 《現状・具体的な取り組み・課題》

当校が開校当初より掲げている日本語教育機関設置の趣旨・理念及び教育目標は以下の通り。

創智国際学院が留学生に対する日本語教育を通じて目指すのは、日本と諸外国を結ぶ役割を担う国際人材を育成すること。基礎的日本語習得に加えて、日本文化・社会に対する理解を深め、進学先、更にその先のビジネスの現場で活躍できる高度なコミュニケーション能力を身につけた国際人材育成を通じて地域の国際交流とグローバル化の促進に貢献していきたい。

- 教育目標
- 1 日本語を正しく理解し、正しく使用できる
  - 2 日本文化を正しく認識し、伝えることができる
  - 3 国際人として活躍できる人格を形成する

この理念及び教育目標は今も変わることなく、変えることなく、堅持している。今年度は昨年度から続くコロナ禍で外国人雇用に大きな影響が出ているが、特定技能ビザを始めとする各種就労ビザで日本で働く外国人数は今後増加することは間違いないことであり、地域のグローバル化、多文化共生社会の実現は大きな課題となります。そのようなことから、当校のこの理念と目標は不変のものと捉え、全教職員に周知するとともに、学生に対してはコミュニケーション能力を高めることに力を入れた指導を行っている。

2. 学校運営	評価
1 日本語教育機関の告示基準に適合しているか	5 /5
2 学校の理念や目標に沿った運営方針が策定されているか	5 /5
3 人事や給与、財務管理に関する規定は整備されているか	4 /5
4 危機管理体制は整備されているか	4 /5
5 情報システム等による業務の効率化を行っているか	5 /5

《現状・具体的な取り組み・課題》

学校運営上、告示基準への適合と、定めた理念・目標に沿った運営をすることは絶対的なものと捉え、日々の業務に取り組んでいます。入管からの指導による出席管理のIT化も一昨年の導入時から問題なく稼働しており、昨年度から開発してきたオリジナルの学生管理システムも稼働。目指す効率化と正確性の向上は順調に進んでいる。

3. 教職員	評価
1 教職員数・組織体制は適切であるか	5 /5
2 教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか	5 /5
3 教職員評価を行っているか	3 /5

《現状・具体的な取り組み・課題》

コロナ禍が始まって以降、雇用調整や一部解雇もあったが、決して告知基準を下回ることではなく、必要人数以上を維持してきた。教育の質を向上させる取り組みとしては、オリジナル e ラーニングシステムの授業への組み込みをさらに進めることで、教育水準を下げることなく、むしろ向上させることができた。

教職員に対して、クラウド上のグループウェアの活用で業務管理や状況確認を随時可能な状況にしているが、評価システムの導入にはまだ至っておらず、引き続き次年度への課題とする。

4. 教育活動	評価
1 カリキュラムは体系的に編成されているか	5 /5
2 授業評価の実施・評価体制はあるか	3 /5
3 成績評価は適切に行われているか	5 /5
4 各種日本語試験の認定率向上のための指導体制は整っているか	5 /5

《現状・具体的な取り組み・課題》

教育理念・目標に沿って初級、中級、上級、上級Ⅱのレベル設定とカリキュラムが設定されており、それぞれのレベルは JLPT 準拠としている。クラウド上のグループウェアで随時各クラスの状況が確認できるシステムを採っており、問題があれば即修正できるようにしている。また定期的に講師会議を開催し、学生の理解度、到達目標や問題点を共有できるようにしている。

5. 在留管理と生活指導	評価
1 入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか	5 /5
2 日本社会を理解し、適応するための支援が適切に行われているか	5 /5
3 法令を遵守させ、犯罪を防止する指導を行っているか	5 /5
4 防災や緊急時における避難体制が整備されているか	5 /5
5 進学・就職指導に関する体制は整備され、機能しているか	5 /5
6 学生からの相談に対応する体制は整備され、機能しているか	5 /5
7 学生寮等、生活環境への支援は行われているか	5 /5
8 卒業後の支援体制はあるか	5 /5

《現状・具体的な取り組み・課題》

コロナ禍は留学生の学習、生活など様々な面で大きな影響を与えたが、誰一人問題を起こすことなく、全体として高いモチベーションを維持できた。SNS やオリジナルのシステムなど IT ツールの活用で、今どきの学生と教職員の距離が縮んだことによる良い効果もあると思われる。

6. 教育環境	評価
1 学校の施設・設備が適切に整備されているか	5 /5
2 使用教材は適切であるか	5 /5

《現状・具体的な取り組み・課題》

施設、設備、教材は全て適切である。昨年度から引き続き、ICT教育の充実を図った。

7. 入学者の募集	評価
1 学生の受入方針は定められているか	5 /5
2 学生募集活動は、適正に行われているか	5 /5
3 学生募集活動において、学校情報は正確に伝えられているか	5 /5
4 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	5 /5
5 入学金・授業料その他の納付金は適切であるか	5 /5
6 適正な定員設定及び在籍者数になっているか	5 /5

《現状・具体的な取り組み・課題》

今年度はネパール 2 拠点目となるダーン校が開校。バングラデシュ・シレット事務所の開設、インドネシアマカッサルのインドネシアムスリム大学との提携など独自の学生募集ルートの実現を進めることができた。今後も引き続き、海外留学者への依存度を下げ、より良い学生をより確かな方法で選考、受け入れしていくよう努力していきたい。

8. 財務	評価
1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 /5
2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5 /5
3 財務について会計監査が適正に行われているか	5 /5

《現状・具体的な取り組み・課題》

コロナ禍の水際対策強化により学生の入国に大きな影響が出たため、昨年同様に経営が安定しているとは言えない状況である。

しかし、顧問税理士の指導、取引銀行によるアドバイスを受け経営改善に取り組んでいるため、今年度も決算上はコロナ禍にありながらもある程度の良い結果を出しているとの評価を受けることができている。

水際対策の緩和以降、途切れた募集ルートの修復や新たな学生確保ルートの構築が課題ではあるが、海外拠点を複数持つ当校の場合、募集には大きな影響がないと思われるので、経営状況の改善には自信を持っている。

9. 法令遵守	評価
1 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5 /5
2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	5 /5
3 関係省庁への報告を遅延なく実施しているか	4 /5
4 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	5 /5
5 自己点検・自己評価結果を公開しているか	5 /5

《現状・具体的な取り組み・課題》

昨年と同様に法令、告示基準等の遵守と同レベルに個人情報保護の意識を持ち、業務に当たるよう心がけた。個人情報に関する書類の管理を徹底、鍵の取り扱いも厳重にしている。

各種届出に関しては定期報告は全て行えているが、コロナ禍で変化の多かった教員変更手続きが遅れてしまうなど、反省点も多い。

10. 地域貢献・社会貢献	評価	
1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4	/5
2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	4	/5

《現状・具体的な取り組み・課題》

今年度もコロナ禍のため、校外の交流活動やボランティア活動が中止になることが多く、学校周辺の清掃活動程度しかできなかった。